



滿鐵密檔

# 滿鐵與侵華日軍

(五)

遼寧省檔案館編  
廣西師範大學出版社

FA16/05

ハニ 大妻

277 47 7292

シフ 47 47

724 8722

事務 277

724 16  
事務 周仔

通テ 電報部内へ可然 傳通知願ヒマス

(電報通知済)

時局ニ際シ 當所ニ別紙ノ通達 務局ヲ設置セラレ本日 執務開始致



奉 職 第 一 四 〇 二 一 號 ノ 五 五 ノ 二

大正十四年十二月八日

奉 大 職 退 事 務 所 長

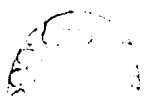
殿

事務 277

724 16

2

(外)



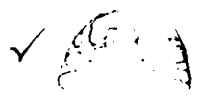
南滿洲鐵道株式會社



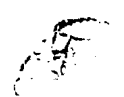
領事



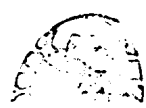
孫子景光



第四師長



第八師長



長官



折富



第四師長



王長



第四師長



第一師長

町岡二隊シ富所二別紙ノ進軍務同ヲ敵直ル本日ヨリ執務開始  
以シ隊ニ付此枚御通知申上候  
敬 具

敬

本隊第一四〇二一號ノ五五ノ一

大正十四年十二月八日

奉天鐵道事務所長

3

一、關シ奉天ニ滿鐵時局事務所ヲ置ク（電報略號ホテジジ）  
 二、本所ハ時局ニ關スル情報ノ蒐集本社トノ聯絡應急所置等ノ事務  
 ヲ掌ル

三、本所ニ至ハ奉天鐵道事務所長室内ニ之ヲ置ク（電話番號社内二百  
 〇番社内特別長距離加入及公衆ト連絡ス）

四、本所ノ事務ハ駐在理事之ヲ主宰ス  
 五、本所ニ左ノ所員ヲ配屬ス

大正拾四年三月八日

- 大 銚 太 郎
- 後 宮 中 佐
- 伊 藤 一
- 稻 川 利 一
- 河 村 文 三 郎
- 梶 八 郎

8

滿鐵事務局事務所業務分擔

業務

務

宿所及電話番

一般業務上重要業務處理

滿鐵理事公館  
一五六九

梅野理專

一般業務處理

浪速通三八  
一六五二

大友鑑太郎

軍事關係方面業務

大丸旅館  
三四〇

安宮中

一般業務補助

理學公館  
一五六九

伊藤

庶務

繪葉町十一

稻川利一

支那關係諜報一般業務補助

紅梅町青雲寮  
此内一二七

河村文三郎

備考 稻川利一二尾專アル同ハ滿鐵交換社内二三〇ニ電話ヲス

ケテ下サイ



十月九日 晴 報



鄒孫長募兵 (悅來棧主人言)

過夜郭松齡方、銃殺多し、姜姓は其ノ

部下は鄒孫長ハ同下南地、来リ一隊ヲ編

成シ、故妻督弁ノ仇ヲ報セリト募兵、奔走中

ナリト

韓麟春軍長進言 (悅來棧主人言)

元兵工廠長より同云、今回、軍長トシテ部下

滿洲洲鐵道株式會社

シ率ヒ昨日の惣、向ツテ言ハレリ

第十六の長 佈 走

(恆来校主人カ于師長ノ部下ニ)

錦カ方面陣地ニアリシ張作相及左翼共

リシ汎金紙ト共ニ惨敗退ち

之太翼、アリシ第十六師長于仙カハ陸路

吉林ニ向ツテ去リ

錦カ北関燒失 奉天駅内 談話

奉軍ハ錦カ退ち、陸北関ニ火ニ致シ燒

失セリト

錦カ商務會 郭軍ヲ歡迎ス 奉天駅内 談話





奉軍、錦州城ヲ退テスルニ同地商務會ハ  
鄭軍ヲ歡迎入城セシメ...

奉天商務會方為會議  
高弟會長  
社憲廷氏

奉天附屬地タル商務會ハ時今ハ對スルニ...

會議ヲ開キ會長社憲廷氏以下段々出

席一隅下會場中一ナリ

里董江有督弁公署馬  
諮議赴陣  
東亞勸業公社  
款ニシテ馬維邦氏

前里董江有交渉署長ニシテ有力者タル馬忠駿

氏ノ子馬維邦  
里董議會議  
督弁公署諮議  
鄭松欵ト陣

終ヲトリ將來同者ノ地位ヲ有利ニ導カントテ



形日齋地夢卦陣了卜

東京株式會社



(啓)

副社長



社長

理事

支務課長

東天

跡

北長  
鹿の島

4  
12

7  
PM 2  
3  
20 40

第九二号

特務機関並池少将の今日正午五時同司  
 官の声の張作霖は付へたり、郭軍  
 へ、使者の南東軍、参謀駆逐隊二連、  
 行々事三十リト、張作霖の東支路に漢路軍  
 ヲ毛新保ニ送ルヤモ知レズ、以テ事考慮中  
 十ルカ如シ、以テ仲意不下記、新リ次才電下、



電 報 譯 文

文 書 課 長

發信者名

奉天地方事務課

受信者名

陸務部 奉天地方事務課

發著大正

14年12月

9日

日午0時0分發

本日到着ノハ 部隊利用トシテ 苦力收容所  
一部 細菌検査所 一部 及 獸疫研究所  
概倉一棟 提供スルコトトシテ 承知ス

(電報譯文用紙)

南滿洲鐵道株式會社



山陽鐵道株式會社

又寄課員

本書發送先 文書課長、地方部長、庶務部長、興業部長  
本埠地第百〇五號ノ五

大正十四年十二月九日

大正十四年十二月九日

文書課長 殿

支那時局ニ關スル件

時局急迫以來當所ニ於テ應置シタル主ナル事項係左記爲念報  
告ス

左記

十二月五日

時局急迫シ來リタル爲メ本會社ヨリ各家ヲ通知セシムル要アルニ  
付公所長ヨリ各機關場所ニ付通知アリ不取致事ハ三階官廳至ニ  
之ヲ收容スルコトトシ六日早朝ヨリ外部ヨリ紙ヲ持込ミ之カ設  
備ヲ致シタルモ未タ公所員ヲ收容スルニ至ラス





南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社

十二月六日

一、在歐領旅團司令部及步兵聯隊當地ニ移駐ニ付新築社員俱樂部ヲ之ニ提供スルコトトシ内部ニ於ケル諸般ノ設備ヲ施シ引渡シタリ旅團司令部及聯隊ハ同日六時五十分着奉俱樂部ニ入ル炊事場、便所、馬糞場ハ俱樂部境内ニ軍隊ニ於テ之ヲ建設シタリ

二、第一小學校ハ商埠地ニ在ル爲時局以來兒童ノ登校危險ヲ感シタル爲警官之ヲ護衛シ登退校シツツアリシカ時局愈々急迫セル爲本日ヨリ一週間臨時休業ヲナスコトニ決シ尙萬一ノ場合ヲ慮リ御眞影ハ之ヲ尋常高等小學校ニ奉遷セリ舊同校ハ萬一ノ場合ハ同地附近在留日本人ノ避難箇所ニ充當シタキ旨申出アリタルニ付之ヲ承認シタリ



南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社

三、鐵田公所長ヨリ貴重品一時預リテ依頼サレタルニ付事務所三階各室ニ收容スルコトヲ承認シタル處午後二時三十分頃ヨリ馬車又ハトラツクヲ以テ地方官事務所ニ運搬シ來リタルニ付之ヲ三階、二階、階下ノ各室ニ收容シタリ而シテ本物品ハ事實ハ張作霖氏ノ物ナルカ如シ收容數左ノ如シ

(1) 貨幣七〇三箱

(2) 家財約一五〇個（一部分ハ事務所倉庫ニ保管ス）

本件保管ノ経緯ニ付テハ當時庶務部長、地方部長ニ直チニ報告シ置ケリ

四、當所ニ右ノ如キ物品ヲ預リタル關係モアリ警察ニ對シ相當保護ヲ依頼シタルニ對シ警察署ヨリ警官九名ヲ當所ニ派遣セラレタリ右警官詰所ハ最初公所員避難ノ爲ニ設けシタル三階會議室ヲ之ニ充當セリ



南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社

十二月七日

一、時局ニ關シ區長ヨリノ要求ニ依リ區長會議ヲ開催シ時局ニ對シ市民一般ノ探ルヘキ方法ニ關シ協議セリ

二、午後二時~~々々~~領事館ヨリ勅民府在留日本人引揚ケニ付收容方依頼アリ不取敢舊滿鐵俱樂部ヲ之ニ充當スルコトトシ<sup>諸</sup>裡ノ手配ヲナセリ而シテ避難者ハ午後七時奉天驛ニ着シタルモ皆知

人ノ家ニ散宿スルコトトナリタル爲收容スルニ主ラス

三、憲兵隊長ヨリノ要求ニ依リ時局中會社ノ費用ヲ以テ自動車一臺ヲ提供スルコトトナセリ

四、居留民會ヨリ居留民會區域內在住本邦人ノ避難場所トシテ尋常高等及第二小学校使用ヲ申出アリタルニ付承諾ス





南 滿 洲 鐵 道 株 式 會 社

十二月八日

一、陸軍第三次出動部隊ニ對スル設営ノ申出アリ、鐵道支那人合宿所ヲ之ニ充當スルコトトシ、破損セル煖房ノ修理及電燈ノ架設ヲ夫々手配セリ

二、瓦斯タンク及水源地下水道タンク、電所其他會社重要造營物ノ保護ニ關シ、圖面ヲ添ヘテ衛戍司令官及警察署長ニ依頼セリ

十二月九日

一、第三次部隊ニ對シテハ、又加八合宿所ノ他細菌検査所ノ一部及馬糞場トシテ獸疫研究所ノ畜舎一棟ヲ提供スルコトトシ、内部ノ掃除其他ニ付助勢セリ